

令和 3 年度

特色ある事業

相 生 市

令和3年度 相生市の特色ある事業

分野	区分	新・継	事業名等	事業費(千円)	担当課	ページ
教育 (7事業)	定	継	市立幼稚園3歳児保育事業	14,457	管 理 課	1
	定	継	市立幼稚園預かり保育事業	8,750	管 理 課	2
	ふ	新	相生型ハイブリッド学習事業	10,190	学 校 教 育 課	3
	ふ・定	継	市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業	100,345	学 校 教 育 課	4
		継	学校園読書活動充実事業	5,735	学 校 教 育 課	5
	定	継	ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業	23,989	学 校 教 育 課 生涯学習課	6
	定	継	相生っ子学び塾事業	3,646	生涯学習課	7
子育て支援 (7事業)	定	継	こども医療費助成事業	48,406	市 民 課	8
	定	継	出産祝金支給事業	10,903	子 育 て 元 気 課	9
	定	継	子育て応援券交付事業	4,014	子 育 て 元 気 課	10
	定	継	特定不妊治療等補助事業(拡充)	5,370	子 育 て 元 気 課	11
		継	保育所等副食費補助事業	6,720	子 育 て 元 気 課	12
		新	保育士宿舍借上支援事業	2,205	子 育 て 元 気 課	13
	ふ	新	産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	5,544	子 育 て 元 気 課	14
安全・安心 (5事業)		新	気象観測情報提供事業	792	危 機 管 理 課	15
		新	防災情報等一斉送信事業	2,804	危 機 管 理 課	16
		新	総合福祉会館空調改修事業	78,595	社 会 福 祉 課	17
		新	狭あい道路整備事業	3,000	都 市 整 備 課	18
		新	住宅・建築物土砂災害対策支援事業	1,000	都 市 整 備 課	19
相生の元気 (5事業)	定	継	新婚世帯家賃補助金交付事業	16,130	定 住 促 進 室	20
	定	継	住宅取得奨励金交付事業	15,000	定 住 促 進 室	21
		新	相生市商業応援プレミアム付商品券事業	38,000	地 域 振 興 課	22
	ふ	新	駅前にぎわいづくり事業	2,000	都 市 整 備 課	23
		新	相生農林業祭事業	500	農 林 水 産 課	24
その他 (3事業)	ふ	新	あいおい暮らしお試し移住事業	7,500	定 住 促 進 室	25
	ふ	新	ペーロン船新艇建造事業	12,000	地 域 振 興 課	26
		新	相生墓園合葬式墓地建設事業	50,000	環 境 課	27
合計(27事業)				477,595		

区分の「ふ」は、ふるさと応援基金事業、「定」は、定住施策11の鍵事業。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園3歳児保育事業	担当課	管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	富田
事業の必要性	幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であるため、3歳児より基本的生活習慣を身につけることを目的に実施する。		
事業の内容	当市では、3歳児の幼稚園教育を県下で最も早く導入し、幼児の豊かな心の育成、基本的生活習慣の形成、道徳性・規範意識の醸成などを柱として教育活動を行っている。 市立幼稚園全園（6園）で実施し、保育時間は10月までが午前保育、11月からが午後2時までとなっている。 園児が20人を超える場合には、パート補助教諭1名の追加配置により実施している。		
事業費	14,457千円		
事業費の内訳	・人件費 9,437千円 ・工事請負費 300千円（幼稚園施設整備事業費） ・需用費等 4,720千円（幼稚園管理事業費）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 14,457千円	
実施時期 （工期）	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園預かり保育事業	担当課	管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	富田
事業の必要性	平成19年6月に学校教育法が改正され、幼稚園の役割として子育て支援が位置づけられている。 幼稚園教育の機会拡充及び子育て支援の拡充により、保護者の子育てに関する不安の解消やストレスの緩和と幼児の健やかな成長を支援する。		
事業の内容	市立幼稚園の保育時間終了後、希望する園児に延長して保育を行う。 預かり保育時間は通常保育終了後から午後5時00分まで。夏休みなどの長期休業期間などは実施しない。 預かり保育料は無料（2号認定者は国の無償化制度、1号認定者は市の減免制度）とし、市立幼稚園全6園で実施する。 なお、定員は各園35人。対象者は、実施する幼稚園に通う4歳児又は5歳児。		
事業費	8,750千円		
事業費の内訳	・人件費 8,169千円（パート指導員） ・需用費 581千円（消耗品費、燃料費）		
財源の内訳	(特定財源) 国庫補助金 2,723千円 県補助金 2,723千円	(一般財源) 3,304千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	相生型ハイブリッド学習事業		担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	竹口
事業の必要性	ICT機器を活用した個別学習や協働学習を推進するとともに、ふれあいや絆を重視した日々の授業や体験活動の意義を見直し尊重しながら、両方の持ち味を活かす「相生型ハイブリッド学習」を研究する。それらを通して、児童生徒一人ひとりに知徳体のバランスが取れた教育を行い、人間力の伸長を図る。			
事業の内容	・ふれあいや絆を重視した学習の継続・充実 対話的な活動を取り入れた学習や、創意ある学校園づくり推進事業を活用し、他者や地域から学ぶ体験活動を重視した実践を行う。 ・ICTを活用した学習の充実 研修講座や校内研修を通じて、学校間の遠隔合同授業や家庭学習を含め、効果的な学習端末の活用を進める。 ・デジタル教育環境の支援 支援員によるマニュアルの作成や個別操作研修、ICTを活用した授業提案等により、ICT化を円滑に進められるようにする。			
事業費	10,190千円			
事業費の内訳	・補助金 900千円（創意ある学校園づくり推進事業補助金） ・報償費 50千円 ・委託料 6,468千円（小学校支援員） ・委託料 2,772千円（中学校支援員）			
財源の内訳	（特定財源）		（一般財源）	
	繰入金 8,800千円		1,390千円	
実施時期 （工期）	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業		担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	竹口
事業の必要性	豊富な献立メニューと栄養バランスのとれた学校給食の給食費を無料化することにより、教育の充実に資するとともに、保護者の経済的負担を軽減し、子育てを支援することを目的とする。 平成23年4月より事業を開始し、令和3年度についても継続して実施する。			
事業の内容	対 象 ・市内に住所を有する市立幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の保護者、 ・特別支援学校に通学する市内に住所を有する児童・生徒の保護者 助成額 保護者が負担すべき学校給食費の額の全額			
事業費	100,345千円			
事業費の内訳	・補助金 100,345千円（学校給食費助成金）			
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 11,400千円		(一般財源) 88,945千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	学校園読書活動充実事業	担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	竹口
事業の必要性	学校園における朝読書や読み聞かせの実施など、子どもたちの読書活動を推進し、読解力、表現力の向上をはじめ豊かな情操の育成につなげるため、学校園図書を充実し、活用を促進する。		
事業の内容	・学校図書館図書整備費として、各小中学校に配当（人数割＋均等割） ・各小中学校において児童、生徒の要望を聞きながら、蔵書選書・購入、新聞購入 ・読書活動の充実 - 幼稚園 絵本コーナーの整備、親子読書の推進 - 小学校 読み聞かせボランティアの活用（「読書通帳」等の取組） 図書の時間の指導・充実 - 中学校 学級図書としての学校図書館図書の活用 （図書コーナーの整備、ノー部活動デーでの読書推進等） ・寄付図書の活用（幼稚園） ・英語にふれられる図書・絵本の購入		
事業費	5, 7 3 5 千円		
事業費の内訳	・需用費 5, 7 3 5 千円（消耗品費） - 内訳 小学校 3, 5 2 5 千円 - 中学校 2, 0 0 0 千円 - 幼稚園 2 1 0 千円		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 5, 7 3 5 千円	
実施時期 （工期）	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業	担当課	学校教育課・生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	竹口・末政
事業の必要性	子ども達がグローバル社会の中でたくましく生きる力を身につけていけるよう、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じ、一つながりで体系的な取り組みを行い、実践型の生きた英語を習得する環境づくりを目指す。		
事業の内容	(学校教育課) ・幼稚園及び小学校への専属FLTの配置 (生涯学習課) ・相生っ子学び塾（英語）		
事業費	23,989千円		
事業費の内訳	○専属FLT配置 ・委託料 22,941千円（外国語指導助手派遣委託料） ○相生っ子学び塾（英語） ・報償費 756千円（講師等謝礼） ・需用費 230千円（消耗品費外） ・役務費 62千円（保険料）		
財源の内訳	(特定財源) 諸収入 48千円	(一般財源) 23,941千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	相生っ子学び塾事業	担当課	生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	末政
事業の必要性	相生市の将来を担う子どもたちの生きる力を養うために、基礎学力の定着と自学の姿勢を身につけさせる必要があるため、実施する。		
事業の内容	対 象 者：市内小学校5、6年生（珠算のみ4、5、6年生） 講 座：国語・算数、英語、珠算 場 所：放課後各小学校（国語・算数、英語） 文化会館（英語、珠算） 時 間：概ね毎週1回、夏期1時間、冬期45分（国語・算数） 概ね月1回、夏期1時間、冬期45分（小学校）（英語） 概ね月2回、通年1時間（文化会館）（英語） 概ね月3回、1時間（珠算） 講座内容：プリントによる自学自習を通して苦手意識を克服する（国語・算数） 英語の復習や定着を目的とする（英語） 計算の基本である珠算（暗算含む）を習得する（珠算） 講 師：教員免許及び指導経験を有する人（国語・算数） 英語教育に関心や指導経験のある人（英語） 塾講師（元講師含む）や珠算指導に関心のある人、市内県立高校生（珠算）		
事業費	3,646千円		
事業費の内訳	・報償費 2,231千円（講師等謝礼） ・需用費 461千円（消耗品費外） ・役務費 122千円（保険料） ・賃金 832千円（学び塾コーディネーター）		
財源の内訳	（特定財源） 県補助金 1,566千円 諸収入 96千円	（一般財源） 1,984千円	
実施時期 （工期）	令和3年4月～令和4年3月		
備考	※英語講座に係る事業費は、「ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業」に記載		

施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	こども医療費助成事業	担当課	市民課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	小林
事業の必要性	こどもにかかる医療費の自己負担分を助成することにより、子育て世代の経済的負担を緩和し、安心して子育てができる環境をつくる。		
事業の内容	こどもにかかる医療費の自己負担分を助成し、無料とする。 ・対象者：小学4年から中学3年までの児童・生徒 ・対象医療：入院及び通院医療 ・助成内容：医療保険における自己負担分の助成 （高額医療費は除く） ・所得制限：市民税所得割23.5万円未満 ・助成方法：現物給付（受給者証を交付）		
事業費	48,406千円		
事業費の内訳	旅費 2千円 需用費 93千円（消耗品費、印刷製本費） 役務費 1,047千円（通信運搬費、手数料） 委託料 330千円 補助金 270千円 扶助費 46,664千円（こども医療費）		
財源の内訳	（特定財源）	（一般財源）	
	県補助金 7,555千円	40,851千円	
実施時期 （工期）	令和3年4月～令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	出産祝金支給事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	坂本
事業の必要性	出産をお祝いするとともに、子どもを産み育てやすい環境をつくる。		
事業の内容	相生市在住者が出産した場合、お祝い金として、第一子、第二子には1万円、第三子以降には出産時に1万円、次年度以降も継続して相生市に住所を有する者については10万円を3年間（合計31万円）支給する。		
事業費	10,903千円		
事業費の内訳	・需用費 3千円（消耗品費） ・扶助費 10,900千円（出産祝金） （10千円×240人＝2,400千円） （100千円×85人＝8,500千円）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 10,903千円	
実施時期 （工期）	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	子育て応援券交付事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	坂本
事業の必要性	子育て家庭の不安解消や子育て負担の軽減を図るとともに、家庭や地域の子育て力の向上を図ることを目的とする。		
事業の内容	子どもを出生した保護者を対象に、3歳に達するまでの期間利用できる応援券（チケット）20,000円分を交付する。利用できるサービスとしては、子どもを預かるサービス、保護者を支援するサービス、子どもの健康保持や子育て家庭を支援するサービスとする。		
事業費	4,014千円		
事業費の内訳	・ 役務費 14千円（通信運搬費） ・ 交付金 4,000千円（子育て応援券事業交付金）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 4,014千円	
実施時期 （工期）	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	特定不妊治療費等補助事業(拡充)	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	中山
事業の必要性	(特定不妊治療費)(不育症治療費) 保険診療外である特定不妊治療及び不育症治療を受ける人の経済負担を軽減し早期受診、早期治療を促進するため、治療費の一部を助成する。 (若年がん患者妊よう性温存治療費) 若年がん患者に対し、妊よう性温存治療費の一部を助成することにより、将来に希望を持ってがん治療に取り組めるよう支援する。		
事業の内容	(特定不妊治療費) 1回の特定不妊治療に要する費用から、県の助成額30万円を差し引いた額に対し、70万円を限度として助成する。 (不育治療費) 年1回に限り、治療費の1/2(限度額15万円)を助成する。 (若年がん患者妊よう性温存治療費) 治療費の1/2(1回限度)を助成する。 卵子もしくは卵巣組織の採取及び凍結又は胚(受精卵)の凍結20万円限度 精子の採取及び凍結2.5万円限度		
事業費	5,370千円		
事業費の内訳	扶助費 5,370千円 ・特定不妊治療費 5,000千円 (500千円×10人=5,000千円) ・不育症治療費 150千円 (150千円×1人=150千円) ・若年がん患者妊よう性温存治療費 220千円 (200千円×1人=200千円) (20千円×1人=20千円)		
財源の内訳	(特定財源) 県補助金 185千円	(一般財源) 5,185千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月～令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	保育所等副食費補助事業		担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	坂本
事業の必要性	子どもを育てやすい環境づくりを推進するため、保育所・認定こども園等に通う3歳以上の児童に係る給食費の一部を助成し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。			
事業の内容	認可保育所及び認定こども園等に通う3歳以上の児童の給食費について、申請により月額2,000円を助成する。			
事業費	6,720千円			
事業費の内訳	・補助金 6,720千円（副食費補助事業補助金）			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 6,720千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	保育士宿舎借上支援事業		担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	坂本
事業の必要性	保育士確保対策として、保育所等の事業者には保育士用の宿舎を借り上げるための費用の一部を支援することで、保育士が働きやすい環境を整備することを目的とする。			
事業の内容	保育所等の事業者が採用後5年以内の常勤の保育士を住まわせるための宿舎を借り上げる場合、一人当たり月額49,000円を上限に、国の定める補助割合に応じて補助を行う。			
事業費	2,205千円			
事業費の内訳	・補助金 2,205千円（保育士等宿舎借上支援事業補助金）			
財源の内訳	(特定財源) 国庫補助金 1,470千円		(一般財源) 735千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	中山
事業の必要性	ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、妊娠期から子育て世代までの医療に関する不安や悩みを解消するため、外出することなく自宅からオンラインで産婦人科医や小児科医等による相談ができる体制を整備する。		
事業の内容	1 夜間相談（平日18時から22時） LINEアプリ又はスマートフォンを使用してビデオ電話、音声通話又はメッセージチャットで産婦人科医、小児科医又は助産師に直接相談できる。（要予約） 2 いつでも相談 専用フォームからメッセージで相談内容を質問し、24時間以内に医師等による回答を受け取ることができる。 3 医療記事配信 受信希望者に医療記事を配信する。		
事業費	5,544千円		
事業費の内訳	・使用料及び賃借料 5,544千円		
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 5,000千円	(一般財源) 544千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月～令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	気象観測情報提供事業	担当課	危機管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	坂本
事業の必要性	雨量、風速等の気象情報をリアルタイムで観測し、スマートフォンアプリ等を通じ、市民がいつでも気象観測情報を把握することにより、市民等及び行政の気象情報収集と災害対応能力向上を図る。		
事業の内容	「雨量、気温、湿度、気圧、日射量、風向、風速、感雨」の8つの気象要素をリアルタイムで観測することができる気象観測装置を導入する。気象データはインターネットサイトやスマートフォンアプリを通じ市民誰でも閲覧することができる。また、上記8要素に加えて、降水強度、連続雨量、暑さ指数などのデータも閲覧することができる。 なお、観測地点としては、南北に長い市域に備えるため、市役所及び矢野地区の2箇所へ設置する。		
事業費	792千円		
事業費の内訳	・使用料及び賃借料 792千円		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 792千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	防災情報等一斉送信事業		担当課	危機管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	坂本
事業の必要性	防災行政無線で発信する情報を電話、電子メール、FAXへ一元的に自動配信することにより、市民等に対する防災情報の発信力強化を図る。			
事業の内容	防災行政無線で発信する情報を音声合成による電話への自動発信、電子メールの配信、FAXの自動送信等を一元的に行うことができるシステムを導入する。 当該システムの導入により、携帯電話（スマートフォン）を持たない又はインターネット環境のない高齢者世帯などに対しても、自宅の固定電話等への情報発信が可能となり、防災行政無線子局からの放送内容が聞こえにくい市民へ防災情報を伝達する新たな手段を確保する。			
事業費	2,804千円			
事業費の内訳	・使用料及び賃借料 2,804千円			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 2,804千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	総合福祉会館空調改修事業	担当課	社会福祉課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	長棟
事業の必要性	総合福祉会館の空調設備の経年劣化が著しい状況にあることから機器の更新を行い、会館利用者の快適性の向上を図る。		
事業の内容	総合福祉会館1～3階の空調設備のリニューアル化		
事業費	78,595千円		
事業費の内訳	・委託料 1,595千円 ・工事請負費 77,000千円		
財源の内訳	(特定財源) 市債 70,700千円	(一般財源) 7,895千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月～令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	狭あい道路整備事業	担当課	都市整備課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	藤岡
事業の必要性	道路は、車いす利用者、乳母車利用者、歩行者、自転車、救急車や消防車などの緊急自動車の通行、災害時の避難や日常生活における日照、採光や通風を確保する空間として、市民生活に直結した重要な役割を果たしている。しかし、市内には、道路の幅が4 mにも満たない狭あい道路と呼ばれる狭い道路が多く残っている。 この状況を改善するため、新たな建築にともない後退された道路用地の取扱いを定め、家の建替え等の機会に合わせ住民と市が協力し、狭あい道路を広げることにより狭い道路の解消を目指すものである。		
事業の内容	相生市道で、幅員4 m未満の建築基準法第42条第2項に該当する道路に接する敷地において、新たな建築にともないセットバックされた部分の敷地を寄付した場合に、所有権移転登記に伴う測量・分筆・登記に要する費用に対して、申請により50万円を限度として助成を行う。 上記に伴い、隅切り用地を必要に応じて固定資産税評価額の7分の10の割合で買い取る。(頂点の角度が120°以下)		
事業費	3,000千円		
事業費の内訳	・公有財産購入費 500千円 (隅切り土地購入費 2 m²×35千円(固定資産税評価額)／m²÷0.7×5ヶ所) ・負担金補助及び交付金 2,500千円 (測量・分筆・登記手数料 上限500千円×5件)		
財源の内訳	(特定財源) 国庫補助金 1,080千円	(一般財源) 1,920千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	住宅・建築物土砂災害対策支援事業		担当課	都市整備課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	古川
事業の必要性	土砂災害特別警戒区域に存する住宅等について、土砂災害から住民の生命と財産の保護を図る。			
事業の内容	土砂災害特別警戒区域に存する住宅等を土砂災害から守るため、防護壁等の整備を行った経費の一部を補助する。 (1棟あたり最大50万円) (地形等により必要と認める場合は100万円)			
事業費	1,000千円			
事業費の内訳	・負担金補助及び交付金 1,000千円 (防護壁等整備支援事業補助金)			
財源の内訳	(特定財源) 国庫補助金 345千円 県補助金 327千円		(一般財源) 328千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業		担当課	定住促進室
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	萩原
事業の必要性	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用を促進するため、新婚世帯家賃補助金を交付し、人口の増加と活力に満ちた地域づくりを進め、将来に向けて活気ある相生市を築くことを目的とする。			
事業の内容	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用を促進するため、居住用住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で夫婦どちらかの年齢が40歳未満の世帯に対して、月額1万円を3年間交付する。			
事業費	16,130千円			
事業費の内訳	補助金 16,130千円（新婚世帯家賃補助金） 内容 平成30年度 交付決定者分 40件 2,980千円 令和元年度 交付決定者分 39件 4,680千円 令和2年度 交付決定者分 45件 5,400千円 令和3年度 交付決定者分 55件 3,070千円 合計 179件 16,130千円			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 16,130千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	住宅取得奨励金交付事業	担当課	定住促進室
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	萩原
事業の必要性	若者の定住により地域の活性化を図るため、住宅取得奨励金を交付し、人口の増加と子どもの笑顔があふれるまちづくりを進め、活気ある相生市を築くことを目的とする。		
事業の内容	若い世代の定住促進を図るため、事業期間中に市内に住宅を新築または購入した申請者が40歳未満の世帯、夫婦もしくは18歳未満の子どもを養育している世帯に対し、奨励金25万円を交付する。		
事業費	15,000千円		
事業費の内訳	・補助金 15,000千円（住宅取得奨励金） 内訳 新規交付予定分 250千円×5件×12月		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 15,000千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月		
備考			

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	相生市商業応援プレミアム付商品券事業		担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	中谷
事業の必要性	新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい経営状況にある市内商業者を支援するため、プレミアム付商品券を販売し市民が利用することで市内商業者の活性化を図る。			
事業の内容	飲食、物品販売、サービス提供等に対し市内店舗において使用できる1組6千円分（500円券×12枚）の商品券を5千円で販売する。 ※商品券の販売は参加店舗にて行い、購入店舗のみで使用可能とする。 ※プレミアム分（10万円）は参加店舗に対し商品券配布時に先行支給する。			
事業費	38,000千円			
事業費の内訳	・補助金 38,000千円 (相生市商業応援プレミアム付商品券事業補助金)			
財源の内訳	(特定財源)		(一般財源)	
	国庫補助金 38,000千円		0千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和3年9月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	駅前にぎわいづくり事業		担当課	都市整備課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	宮崎
事業の必要性	駅前広場モニュメント(船のマストをイメージ)をライトアップし、少しでも明るい気持ちになっていただき、新型コロナウイルス感染症の一日でも早い収束を願う「希望の光」として設置する。			
事業の内容	駅前広場モニュメントの足下に埋め込み型のライトを設置し、ライトアップを行う。 また、ライトアップに合わせ柱部分の再塗装を行う。			
事業費	2,000千円			
事業費の内訳	・維持修繕費 2,000千円 (ライトアップ1,600千円、塗装400千円)			
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 1,000千円		(一般財源) 1,000千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月～令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和３年度当初予算特色ある事業

事業名	相生農林業祭事業		担当課	農林水産課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	宇野
事業の必要性	市内で生産される農林産物の品評会・販売を行う農林業祭を開催することにより、農林産物に対する市民の理解を深め、生産者と消費者との交流・連携、さらに地産地消を促進する。			
事業の内容	市内で生産される農林産物の品評会・販売を行う農林業祭を開催する。			
事業費	500千円			
事業費の内訳	・補助金 500千円（相生農林業祭運営補助金）			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 500千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	あいおい暮らしお試し移住事業		担当課	定住促進室																		
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	関本																		
事業の必要性	コロナ禍において、全国的に地方への移住が注目される一方で、移住後に想像していた暮らしと違っていたなど、うまく生活に馴染めないケースもある。 そこで、相生市の風土や日常生活を一定期間体験し、移住後も地域に溶け込みやすい環境を整備することで、移住希望者の不安を解消し、ミスマッチの防止と移住・定住の推進を図る。																					
事業の内容	民間住宅等を活用し、移住希望者に相生市での日常生活を体験してもらう。 また、週末移住やテレワーク等に対応した環境の確保、アフターコロナ時代の新しい生活スタイルの提案など、移住に関する全般的な相談受付、サポートを行う。																					
事業費	7,500千円																					
事業費の内訳	<table><tr><td>・需用費</td><td>240千円</td><td>(消耗品費)</td></tr><tr><td>・役務費</td><td>450千円</td><td>(光熱水費)</td></tr><tr><td>・委託料</td><td>4,830千円</td><td>(管理、クリーニング等)</td></tr><tr><td>・使用料及び賃借料</td><td>1,580千円</td><td>(家電レンタル等)</td></tr><tr><td>・備品購入費</td><td>300千円</td><td>(家具等購入費)</td></tr><tr><td>・負担金及び補助金</td><td>100千円</td><td>(自治会費等)</td></tr></table>				・需用費	240千円	(消耗品費)	・役務費	450千円	(光熱水費)	・委託料	4,830千円	(管理、クリーニング等)	・使用料及び賃借料	1,580千円	(家電レンタル等)	・備品購入費	300千円	(家具等購入費)	・負担金及び補助金	100千円	(自治会費等)
・需用費	240千円	(消耗品費)																				
・役務費	450千円	(光熱水費)																				
・委託料	4,830千円	(管理、クリーニング等)																				
・使用料及び賃借料	1,580千円	(家電レンタル等)																				
・備品購入費	300千円	(家具等購入費)																				
・負担金及び補助金	100千円	(自治会費等)																				
財源の内訳	<table><tr><td colspan="2">(特定財源)</td></tr><tr><td>繰入金</td><td>3,000千円</td></tr><tr><td>諸収入</td><td>540千円</td></tr></table>		(特定財源)		繰入金	3,000千円	諸収入	540千円	<table><tr><td>(一般財源)</td></tr><tr><td>3,960千円</td></tr></table>		(一般財源)	3,960千円										
(特定財源)																						
繰入金	3,000千円																					
諸収入	540千円																					
(一般財源)																						
3,960千円																						
実施時期 (工期)	令和3年4月～令和4年3月																					
備考																						

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	ペーロン船新艇建造事業		担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	中谷
事業の必要性	平成14年に建造したペーロン船4艇（海龍・輝龍・蒼龍・瑞龍）について、老朽化により乗船に危険が伴うことから、新たに建造する。			
事業の内容	令和3年度中に建造し令和4年のペーロン伝来100周年において披露する。			
事業費	12,000千円			
事業費の内訳	・補助金 12,000千円（ペーロン船新艇建造補助金）			
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 7,000千円		(一般財源) 5,000千円	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。

令和3年度当初予算特色ある事業

事業名	相生墓園合葬式墓地建設事業		担当課	環境課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	森川
事業の必要性	墓を管理・継承する者の減少などから需要が高まっている合葬式墓地について、令和2年度に実施した設計に基づき、建設する。			
事業の内容	相生墓園敷地内に合葬式墓地として合葬施設、個別安置施設、記名版、モニュメント等を建設し、併せて駐車場等の周辺施設の整備を行う。			
事業費	50,000千円			
事業費の内訳	・工事請負費 50,000千円（施設整備工事） 合葬式墓地工事費 40,000千円 西側駐車場及び進入路舗装等工事費 10,000円			
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 50,000千円		(一般財源) —	
実施時期 (工期)	令和3年4月 ～ 令和4年3月			
備考				

※ 施工箇所図及び事業内容の説明できる図面等参考資料を添付すること。